

埼玉県内の調節池等の役割と活用状況 調査表 (NoB-12) 第2班

調 査 日	25. 9. 20	調 査 員	小林寿朗、出村光雄、森山栄一
調節池等名	上広瀬区画整理地調整池		
水 系	荒川・入間川水系	放流河川	入間川
所 在 地	狭山市広瀬台2丁目狭山工業団地内		
事 業 主 体	埼玉県企業局		
管 理 者	狭山市		
事 業 年 度	S46 ~		
調 節 池 等 諸 元	貯水量：1.2万m ³ 面積：2,001m ² 開発造成面積：41.4 ha 最大水深：約6 m 排水方法：自然・強制 調節池等形式：オープン・地下式		
役 割	工業団地造成に伴い雨水の流出増となるため、流出抑制を目的に敷地内に調整池を造成した。		
活 用 状 況	年に数回程度の冠水頻度。公園等の多目的利用はなされていない。 池が深さ6m、直立壁であるため、多目的な活用は困難。		
特 記 事 項	埼玉県企業局が企画造成した工業団地。現在は大日本インキ等計43社の企業が入居。		

位置図・現況写真・活用状況等



埼玉県内の調節池等の役割と活用状況 調査表 (NoB-13) 第2班

調査日	25. 11. 6	調査員	小林寿朗、出村光雄、森山栄一
調節池等名	川越運動公園調整池		
水系	荒川	放流河川	古川
所在地	川越市 下老袋 地内		
事業主体	川越市		
管理者	(財)川越市施設管理公社		
事業年度	S57 ~ H12		
調節池等諸元	貯水量：2.9 万m ³ 面積：1.45 ㌶ 最大水深：不祥 m 排水方法：自然 ・ 強制 調節池等形式：オープン・地下式		
役割	集中豪雨時などには一時雨水を貯留させ、洪水被害の軽減に役立っている。また、平常時は、市民の運動施設やレクリエーションの場として利用されている。		
活用状況	公園内に3ヶ所の調節池があり、東側南側の2ヶ所は芝生の空地で西側入り口の調節池は駐車場となっている。灌水は年1回程度。		
特記事項	川越市の市制60年記念事業として、S57年度から整備に着手。 開発面積は13.5ha		

位置図・現況写真・活用状況等



土、日曜日はファミリーや子供たちで賑わっている

埼玉県内の調節池等の役割と活用状況 調査表 (NoB-14) 第2班

調査日	25, 10. 22	調査員	小林寿朗、出村光雄、森山栄一
調節池等名	鴨田雨水調整池		
水系	荒川	放流河川	荒川右支川 古川排水
所在地	川越市 芳野台3丁目 地内		
事業主体	県企業局・川越市 共同事業		
管理者	川越市		
事業年度	H19年度~H21年度		
調節池等諸元	貯水量：1.9 万m ³ 最大水深：不祥 m 排水方法：自然・強制	面積：1.11ha	調節池等形式：オープン・地下式
役割	・治水単独		
活用状況			
特記事項	・フェンス等により閉鎖されている。		

位置図・現況写真・活用状況等



雨水流入口箇所から放流口を望む



舗装は周囲通路、左が古川側

埼玉県内の調節池等の役割と活用状況 調査表 (NoB-15) 第2班

調査日	25. 11. 6	調査員	小林寿朗、出村光雄、森山栄一
調節池等名	なぐわし公園調整池		
水系	荒川	放流河川	小畔川
所在地	川越市 鯨井 地内		
事業主体	川越市		
管理者	川越市		
事業年度	～		
調節池等諸元	貯水量：1.4 万m ³ 面積：1.3 ㌧ 最大水深：不祥 m 排水方法：自然 ・ 強制 調節池等形式：オープン ・ 地下式		
役割	集中豪雨時などには一時雨水を貯留させ、洪水被害の軽減に役立っている。		
活用状況	現在工事中で温水施設のみ完成		
特記事項	隣接する資源化センターからの熱エネルギーを利用して、温水プール等に利用している。芝生広場、グラウンド等を整備。開発面積は8.3ha		

位置図・現況写真・活用状況等



埼玉県内の調節池等の役割と活用状況 調査表 (NoB-16) 第2班

調査日	25. 10. 26	調査員	小林寿朗、出村光雄、森山栄一
調節池等名	資源化センター調整池		
水系	荒川	放流河川	小畔川
所在地	川越市 大字鯨井 地内		
事業主体	川越市		
管理者	川越市		
事業年度	H10年度～H21年度		
調節池等諸元	貯水量：4,7万m ³	面積：3ha	
	最大水深：不祥m		
	排水方法：自然・強制	調節池等形式：	オープン・地下式
役割	治水単独。		
活用状況	・調整池の一部は地下貯留層の構造であり、その上部はストックヤードになっている。		
特記事項	・オープン式の調整池は2か所で、貯水容量3.46万m ³ と0.5万m ³ であり、地下貯留は1か所で容量0.78万m ³ である。		

位置図・現況写真・活用状況等



東南部のオープン調整池V=5,000 m³



小畔川並行部のオープン池V=34,600 m³

埼玉県内の調節池等の役割と活用状況 調査表 (NoB-17) 第2班			
調査日	25. 11. 6	調査員	小林寿朗、出村光雄、森山栄一
調節池等名	川越市資源化センター調整池		
水系	荒川	放流河川	小畔川
所在地	川越市 鯨井 地内		
事業主体	川越市		
管理者	川越市		
事業年度	～H21		
調節池等諸元	貯水量：約4.7万m ³ 面積：3.0 ㍊ 最大水深：不祥 m 排水方法：自然・強制 調節池等形式：オープン・地下式		
役割	造成に伴い雨水の流出増となるため、流出抑制を目的に敷地内に調整池を造成した。		
活用状況	調整池は3ヶ所あり、北側小畔よりの池は鋼矢板で囲われ常時水面になっており、東側小規模の池は自然常態である。自然常態である。 施設の地下にも調整池があるが、湛水実績はない。		
特記事項	川越市内のゴミ処理施設として、H22年4月にオープンした。 1日の処理能力約650t 開発面積10.5ha		

位置図・現況写真・活用状況等



埼玉県内の調節池等の役割と活用状況 調査表 (NoB-18) 第2班

調査日	25.10.22	調査員	小林寿朗、出村光雄、森山栄一
調節池等名	小畔水鳥の郷公園調整池		
水系	荒川	放流河川	小畔川
所在地	川越市 吉田新町1丁目地内		
事業主体	住都公団		
管理者	川越市		
事業年度	S51年～H2年		
調節池等諸元	貯水量：7.5万m ³ 最大水深：不祥 m 排水方法：自然・強制	面積：3.5ha	調節池等形式：オープン・地下式
役割	<ul style="list-style-type: none"> 公園 水鳥の飛来地 		
活用状況	<ul style="list-style-type: none"> 全体が公園で、周囲に遊歩道がある。 常時、水鳥が飛来している。 		
特記事項	池の南側に排水先の小畔川が並行し、その南側に調整池の御伊勢塚公園がある。		

位置図・現況写真・活用状況等



埼玉県内の調節池等の役割と活用状況 調査表 (NoB-19) 第2班

調査日	25. 10. 22	調査員	小林寿朗、出村光雄、森山栄一
調節池等名	御伊勢塚公園調整池		
水系	荒川	放流河川	小畔川
所在地	川越市伊勢原3丁目地内		
事業主体	住都公団		
管理者	川越市		
事業年度	S58年～H8年		
調節池等諸元	貯水量：5.7万m ³ 面積：2.3ha 最大水深：不祥 m 排水方法：自然・強制 調節池等形式：オープン・地下式		
役割	・公園		
活用状況	・全体が公園である。 修景池のほか、降雨等流出量の増加にしたがって、段階的に冠水する仕組みで、常時は多目的広場で利用されている。		
特記事項	・排水先の小畔川を結ぶ樋管にゲートがない。 ・北側に小畔川が流れ、その北側に調整池の小畔水鳥の郷公園がある。		

位置図・写真等

